
TMEiC 技監 吉野輝雄が「IEC 1906 賞」を受賞
－ パワーエレクトロニクスの IEC 規格(IEC 60146 シリーズ)改正チームの
コンビナーとしての貢献により受賞 －

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEiC)(社長:川口 章)パワーエレクトロニクスシステム事業部 技監の吉野 輝雄は、2023 年 10 月に、パワーエレクトロニクス技術全般の国際的な規格を標準化する団体である国際電気標準会議^{*1}(International Electrotechnical Commission、以下、IEC)より、「IEC 1906 賞」を受賞しました。

IEC 1906 賞は(IEC 1906 Award)は、IEC の専門業務において、電気・電子技術の標準化や、それに関連する活動に顕著な貢献があったと評価される IEC の専門家(個人)に対して授与されるもので、2004 年から実施されているものです。

カーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギー発電と貯蔵や長距離送電、グリーン水素等、パワーエレクトロニクス技術を応用したシステムの導入が進められる中、パワーエレクトロニクス技術全般の基本的な規格である「IEC 60146 シリーズ^{*2}」は、技術情報の更新や、専門外のステークホルダーにも配慮した内容への改正を求められていました。

今回、TMEiC の吉野技監は、ヨーロッパ諸国、中国、日本からのエキスパートなど 12 名で構成された同規格の改正チーム(TC22 MT3 チーム)のコンビナー(とりまとめ役)として参加し、2019 年の規格改正に貢献した点が IEC から評価されました。

10 月 17 日、経済産業省開催の産業標準化事業表彰式及び IEC1906 賞伝達式にて、日本産業標準調査会会長(遠藤 信博[敬称略])より賞状が手渡されました。

<https://www.iec.ch/awards>



「IEC 1906 賞」伝達式(写真右側が吉野技監)



「IEC 1906 賞」の賞状

パワーエレクトロニクスシステム事業部 技監 吉野 輝雄 コメント

「今回の受賞は、日本産業標準調査会、電気学会規格調査会及び同パワーエレクトロニクス標準化委員会(IEC TC22国内委員会を兼ねる)などの関係者のご支援・ご協力の賜物と考えています。現在、IEC60146シリーズの更なる改正の検討に取り組んでおり、今後もパワーエレクトロニクス技術の普及・発展に向け、邁進してまいります。」

*1 IEC:International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議

1906年に日本を含む13ヶ国により、電気及び電子技術分野における標準化及び適合性評価等に関する国際協力、国際理解を促進し、これによって国際貿易の振興及び利用者の利便性の向上に寄与することを目的に発足した。2022年12月現在、参加国88、規格数8,653、専門委員会111、分科委員会108、作業グループなど1,606が活動。

IECホームページ: <https://www.iec.ch/homepage> 日本産業標準調査会: <https://www.jisc.go.jp/>

*2 IEC 60146シリーズ

パワーエレクトロニクスの基本構成要素である交直変換回路を応用した製品全般に適用される。ドライブ装置、UPS、安定化電源などに関する個別の規格のベースとなる共通規格。また、個別規格のないパワーエレクトロニクス製品には、このシリーズの規格が適用される。(緑にて追記)

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。